

新病棟・診療棟案内

建物概要

- 敷地面積：68,593㎡(病院全体の敷地面積)
- 建築面積：6,770㎡
- 延床面積：40,650㎡
- 構造：鉄骨鉄筋コンクリート免震構造
- 階数：地上12階建(設備階を含む)
- 工期：平成19年12月～平成23年7月

施設案内

病棟施設(開院時の内容)

一般病床 [655床]

- 個室
 - 特別室A：1室
 - 特別室B：48室
 - 特別室C：75室
 - 特別室D：4室
 - 重症室：44室
 - RI病室：3室
 - 無菌室：13室
- 4床室
 - 一般：91室
 - 無菌室：4室
- ICU：12床
- HCU：6室
- SCU：1室
- CCU：1室
- NICU：6床
- GCU：15床
- 新生児室：3床
- MFICU：9床

精神病床 [30床]

- 個室
 - 一般：7室
 - 特別室B：2室
 - 保護室：1室
- 4床室：5室

中央診療施設

- SPECT：2台
- SPECT-CT：1台
- PET-CT：2台
- RI薬剤製造設備(サイクロロン室・ホットラボ室)
- X線-CT：3台(うち1台は救急外来に設置)
- MRI：3台
- アンギオ：4台
- 内視鏡室：8室(うち2室は透視装置設置)
- 透析センター：8床
- 手術室：12室

フロア案内

屋上ヘリポート

12F ○レストラン ○三医会ホール

11F ○病棟：血液内科、腫瘍内科、眼科、皮膚科

10F ○病棟：循環器内科、心臓血管外科、総合内科、
糖尿病内分泌内科、腎臓内科、呼吸器内科、呼吸器外科

9F ○病棟：消化器・肝臓内科、消化管外科、肝胆膵外科

8F ○病棟：整形外科、脳神経外科、神経内科、放射線診断科、
放射線治療科、IVR科

7F ○北病棟：婦人科、乳腺外科 ○南病棟：周産母子センター

6F ○北病棟：腎泌尿器外科、
歯科口腔外科 ○南病棟：小児科、小児外科、
小児心臓外科、
細胞移植療法部

5F ○北病棟：耳鼻咽喉・頭頸部外科 ○南病棟：精神科神経科、
RI病棟・密封小線源治療

(4階は設備階)

3F ○中央検査部(緊急検査室) ○輸血部 ○病理部 ○臨床工学部
○中央材料部 ○中央手術部(手術室) ○臨床麻酔部

2F ○血液浄化療法部(透析センター) ○光学医療診療部(内視鏡室)
○中央放射線部(CT・MRI・アンギオ) ○総合集中治療センター

1F ○中央放射線部(RI検査室) ○薬剤部
○救命救急センター(救急外来) ○栄養管理部(厨房)
○入退院受付 ○時間外受付・防災センター
○くつろぎ・憩いのコーナー ○売店 ○理容・美容

周辺詳細図



交通のご案内

- 近鉄江戸橋(三重大学前)駅から徒歩約10分
- 津駅からバスで、津駅東口前バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅前」(06系統)、「太陽の街」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「椋本(むくもと)」(52系統)、「豊里ネオボリス」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行き乗車、「大学病院」下車すぐ。「大学病院前」下車徒歩3分。
- 津駅からタクシーで約10分
- 中部国際空港(セントレア)から
津エアポートラインで津なぎさまちへ40分
1.「空港アクセス港・津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
2.津なぎさまちからタクシーで三重大学医学部附属病院まで約15分

国立大学法人
三重大学医学部附属病院

〒514-8507 三重県津市江戸橋2丁目174番地
TEL.059-232-1111(代表)
<http://www.hosp.mie-u.ac.jp/>



三重大学医学部附属病院

新病棟・診療棟のご案内

新病棟の開院を祝して

医学部、病院の教職員、学生はもちろんですが、三重大学の全体の夢が叶いました。伊勢湾に輝く波の翠、鈴鹿の山並みやキャンパス内の木々の翠、澄み渡った空の翠と「三翠」の最高の立地にある病院です。世界一の環境先進大学を目指すシンボルとなりました。最先端の医療機器、最高の技術を有する医療スタッフとそれを支える病院職員が一体となって、県民はもとより近隣県の人々に新しい病棟で先進医療を提供します。病に苦しむ皆さんの支えとなる病院です。

医師、看護師や医療技師などの新しい「人財」の養成にも大きく貢献し、県内の医療機関の助けとなるでしょう。救急医療、がん診療などでも三重県の中核病院としての機能を十二分に発揮してくれることを期待しています。

まもなく外来・診療棟の2期工事も始まり、平成26年には全てが完成します。夢は大きく広がります。三重大学の軸となり、力強く牽引してくれることを望んでいます。



三重大学長
内田 淳正

新病棟の開院

平成24年1月4日に新病棟・診療棟がオープンします。私達病院職員はもとより患者さんやご家族の方さらには津市民から三重県民まで、永年待ち焦がれた夢が叶います。新病棟は海寄りに建つ三角形の白亜のビルディングです。12階建て屋上にはドクターヘリ用のヘリポートも設置されています。病室や展望レストランからは広大な伊勢湾の遠望を楽しむことができます。もちろん大きな津波や地震にも耐えられるように設計されています。新病棟・診療棟では私達職員一同力を合わせ、高度で安全な医療の遂行、若手人材の育成、先進的な臨床研究の推進、さらには地域医療の発展のために誠心誠意頑張ります。そして何よりも患者さんやご家族の方がゆったりと安心して治療に専念していただけるように、静かで快適な環境作りをめざします。どうぞよろしくお願ひします。

三重大学医学部附属病院長
竹田 寛



三重大学医学部附属病院 基本理念

患者さん本位の医療

患者さんの信頼と満足が得られる最高・最良の医療を安全に提供します。

地域と世界の医療への貢献

地域医療に貢献し、医学・医療の国際交流に努めます。

臨床研究と人材育成の推進

未来を拓く臨床研究を推進し、次代を担う優れた医療人を育成します。

再開発の基本コンセプト

患者さん中心の病院

安心・安全な治療が最適な環境で受けられる、心とむ病院です。現在6人部屋中心の多床室が4人部屋中心となり、個室率も30%に。プライバシーも保たれ、IT機器も十分に利用できます。

新世代の人材育成ができる病院

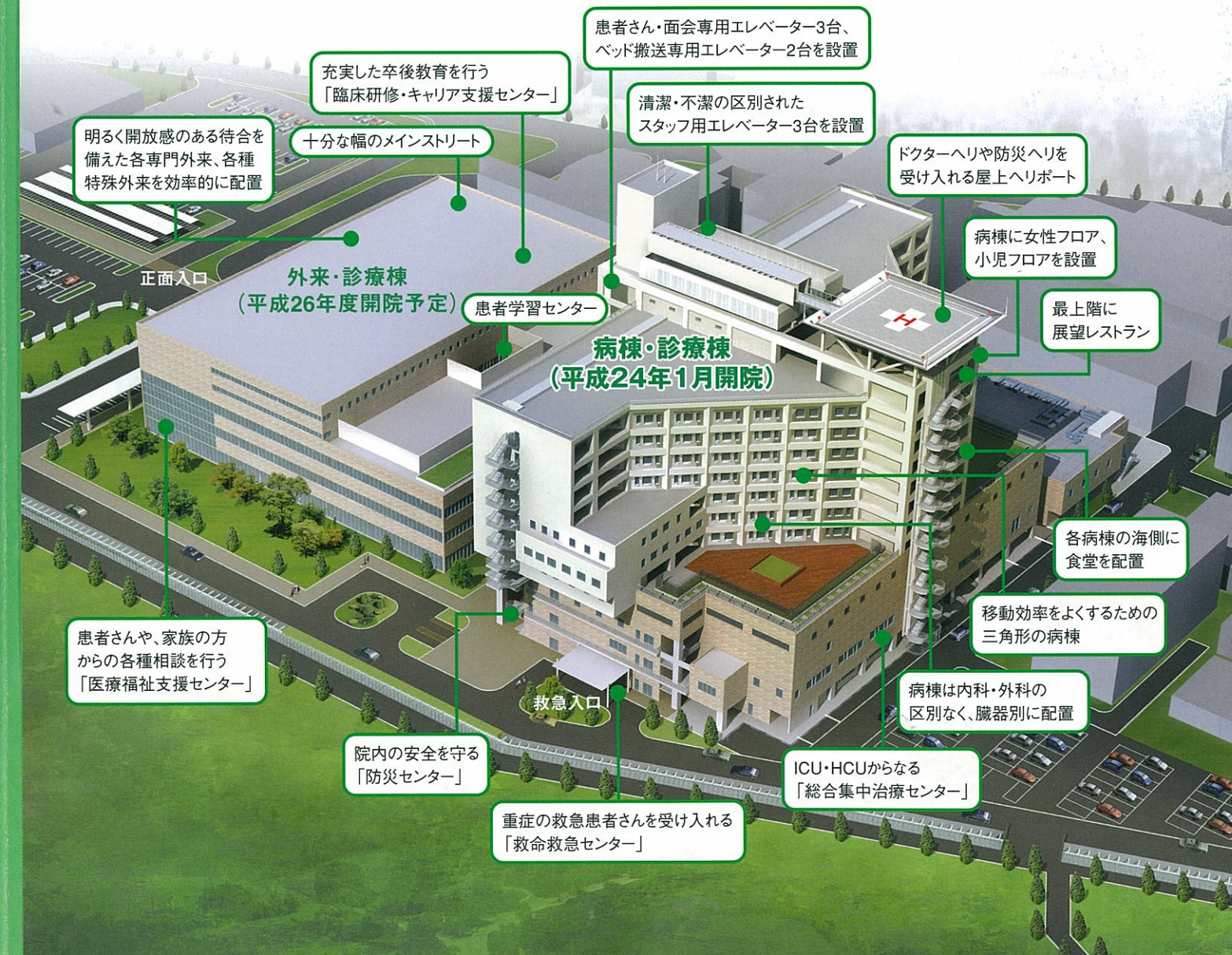
地域の方々から信頼される医師を育てるための教育を行う、良医を育てる病院です。看護師、薬剤師、検査技師、医療事務員などの教育も充実しています。

最先端医療が安全に受けられる病院

三重県で唯一の特定機能病院として患者さまに満足していただける高度先進医療を実践します。最先端のがん治療、移植治療、血管内治療などを安全に行います。そこで働く職員にとっても、やりがいのある病院です。

職場環境の優れた病院

全職員がチームとして連携を保ちながら、楽しく働ける病院です。セキュリティシステムによる安全確保や、病棟各階にカンファレンス室、シャワー付当直室を配置するなど、アメニティの向上を図ります。





手術室

手術室は、現在よりも1室増の12室です。中央材料部、病理部、輸血部など関連する部門と隣接させて十分に連携のとれる配置としました。また、1階の救急外来、2階の総合集中治療センター（救命救急センター・集中治療部門）を専用エレベーターで直結することにより重症患者に対する診療体制を強化しています。



中央放射線部

病棟・診療棟には、主に入院患者用のX線CTやMRI、アンギオ装置と、PET-CTやSPECT-CTなどのRI検査装置を配置しました。



MRI



アンギオ装置

沿革

- 【平成17年12月】
概算要求において、再開発計画に向けた事業費が認められる
- 【平成18年3月】
設計業者を岡田新一設計事務所に決定
- 【平成18年8月～9月】
工事場所になる精神科神経科病棟の一時移転先再編成
- 【平成18年10月～平成19年3月】
本館西翼で精神科神経科病棟一時移転先工事
- 【平成19年2月】
工事場所になるMRI棟にあるMRIを移転
- 【平成19年2月】
建設予定地地盤調査
- 【平成19年5月】
精神科神経科病棟一時移転
- 【平成19年11月～12月】
工事開札 工事業者決定
建築：竹中工務店
電気：川北電気工業
機械：新日空・川崎・
関林特定建設工事共同企業体
- 【平成20年1月～2月】
旧精神科神経科病棟・MRI棟取り壊し
- 【平成20年3月】
新病棟・診療棟工事開始
- 【平成20年5月】
新病棟・診療棟公聴会
- 【平成20年10月】
新病棟・診療棟住民説明会
- 【平成23年7月】
新病棟・診療棟完成・引渡し
- 【平成23年12月末】
新病棟・診療棟への移転
- 【平成24年1月】
新病棟・診療棟開院

特別室A

病棟部分の最上階に位置し、ゆとりのある間取りと、落ち着いた調度で、上質の療養空間としました。室内には、浴室やミニキッチン等の設備があります。



1床室

個室を希望される患者さんの要望に対応できるよう個室率を約30%にしました。個室内にはトイレ、シャワー設備もあります。



4床室

窓を大きくとり、ゆったりとした療養環境を整えました。



総合集中治療センター

救命救急センターの病棟部門と集中治療部門の機能を備えており、ICU、HCU、SCU、CCUなど重症患者に対する専用病棟です。多様な医療機器の使用に備え、ベッド周りに多くの電源・医療ガス配管等を確保し、1床のスペースを広くとっています。



NICU

新生児特定集中治療室です。さまざまな原因で治療を必要とする新生児の集中治療を行う病棟で新生児1人あたりのスペースも大きく確保されています。



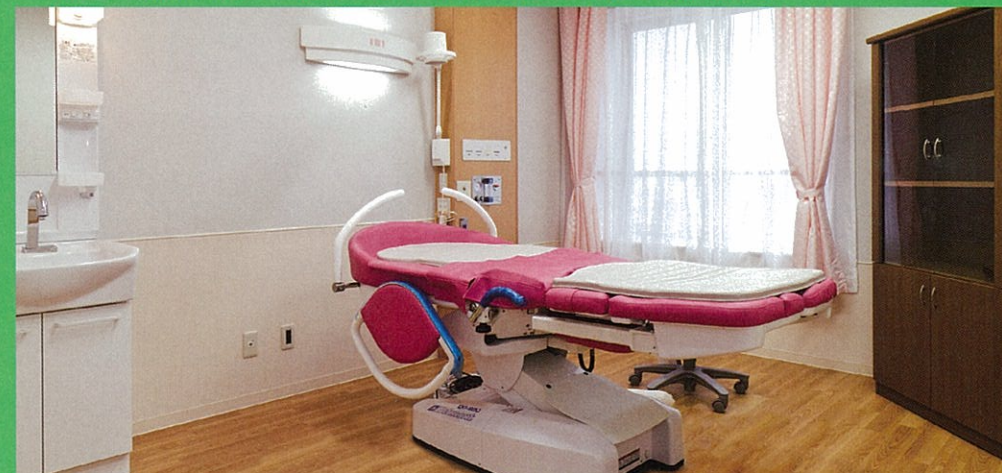
プレイルーム(小児フロア)

内装にお花や動物のあしらわれた病室や、入院中のお子さんの遊び場となるプレイルームが設けられています。



LDR

女性フロアに陣痛(Labor)、分娩(Delivery)、回復(Recovery)が一室で行える、LDRを設けました。陣痛・分娩時に移動をせずにすみ、妊婦さんの負担が軽減されます。



スタッフステーション

患者さんとスタッフのコミュニケーションがとりやすい、カウンターで囲まれた、開放的なつくりとしました。病棟中央部分に位置し、各病室との距離も縮まります。



展望レストランからの風景

伊勢湾を一望できます。天気によれば名古屋方面、知多半島、伊勢方面まで望むことができ、ゆっくりと食事ができる絶景のレストランです。



屋上庭園

5階精神科神経科病棟にあり、広々とした屋上庭園の一面には、治療の一環として農作業を行うための作業農園も設けました。



患者食堂

病棟各階にあり、大学キャンパスと伊勢湾を望むことができます。パントリーを併設しており、ベッドから動ける患者さんは、こちらの食堂で、調理したてのあたたかい食事をしていただけます。



研修コーナー

病棟内で学生への教育や研修ができるコーナーです。



免震装置

地下ピットの免震装置により地震の揺れを吸収して建物への影響を低減させます。

